

**日本初！関西国際空港、大阪国際空港が
地球温暖化防止を目指す空港として認定されました！**

2016年12月6日に、世界唯一の空港会社の国際機関である Airports Council International (ACI : 国際空港評議会) から、関西国際空港 (KIX) 及び大阪国際空港 (ITM) が、地球温暖化防止をめざす空港として認定されましたので、お知らせいたします。

世界的に、2015年12月に気候変動枠組条約締約国会議 (COP21) にて合意された「パリ協定」に記載された環境目標の実現に向け、温室効果ガス低減のための取組みの強化が求められており、日本国内においても環境に対する意識が高まりつつあります。

関西エアポート株式会社は、関西地域の空の玄関として、2015年度に合計3800万人のお客様にご利用いただいている2つの空港の運営会社として、地域及び地球規模での環境問題に対し大きな責任を担っていると考え、省エネルギー化による温室効果ガス排出量の低減に向け、空港施設のエネルギー使用の効率化、建物施設の断熱や日射対策の向上、クールビズの導入などに取り組んでいます。また、空港内事業者、官公庁などのご協力のもと、空港をあげてエネルギー消費量の削減に向けた環境活動に取り組むとともに、空港内で使用するエネルギーに再生可能エネルギーの導入をめざしています。

こうした取組みが評価され、今回 ACI から Airport Carbon Accreditation (ACA : 空港カーボン認証) の認定を受けました。ACA では4つのレベルが提供されており、そのうちのレベル2 (削減) を KIX、ITM 両空港で取得しました。



関西エアポート株式会社では、今回の ACA の認証を契機に、これからも空港内事業者との連携や、地域コミュニケーションを大切に、地球環境を意識したさらなる CO₂ 排出量削減への取組みを推進してまいります。

○経営幹部の環境に対するコミットメントは以下の当社ウェブサイトにて公表しています。

<http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/efforts/message.html>

○環境レポート2016 (KIX、ITM) はウェブサイトにて公開しています。

KIX <http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/kix/smart-island/report.html>

ITM <http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/itm/ecoairport/>

○Airport Carbon Accreditation ウェブサイト

<http://airportcarbonaccreditation.org/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社 について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、ヴァンシ・エアポート 40%、その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である「金融+サービス」の加速化、「アジア等新興国の成長を取り込む」を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



ヴァンシ・エアポートは、国際空港運営における世界上位5社のうちの1社として、フランスで13、ポルトガルで10（リスボンのハブ空港を含む）、カンボジアで3、日本で2、ドミニカで6、そしてチリで1空港の合計35空港の開発および運営を行っています。ヴァンシ・エアポートは、運営する空港ネットワークの年間利用者数は1.3億人にのぼり、170社を超える航空会社が就航しています。

ヴァンシ・エアポートは、深い知見と、プロフェッショナリズムあふれる世界各国の10,600名のスタッフの力を合わせ、その投資力や国際ネットワーク、既存空港のインフラ運営最適化、施設の拡充、新規建設における専門性を活かし、空港の開発、資金調達、建設、および運営を行っています。詳細につきましては、www.vinci-airports.comをご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レノゴ株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構